

# 論文発表会日程一覧

※発表会日時順

論文発表会日時 / 場所		研究領域	氏名	論文題目	
12月11日(木)	10:30-11:30	陳列館 1F	油画 (版画)	舒 風	ポスト・デジタル時代におけるアイデンティティのクリエーション CREATION OF IDENTITY IN THE POST-DIGITAL AGE
	〃	大学美術館 3F 展示室3	建築 (建築設計)	松岡 正明	連側的な多数の視点から創生される形態の設計手法に関する研究
	11:30-12:30	大学美術館 3F 展示室3	日本画	福田 彩乃	「柔らかな絵画」の解毒作用
12日(金)	13:00-14:30	大学美術館 2F	工芸 (陶芸)	常 露露	流動性を活かした素材表現 -土と釉薬の可能性について
	13:30-14:30	大学美術館 B2 展示室2	文化財保存 (保存修復彫刻)	王 工一	鎌倉時代木彫像の構造と彩色に関する研究 —東京藝術大学所蔵 肥後別当定慶作 木造毘沙門天立像の復元模刻研究を中心に—
15日(月)	10:30-11:30	大学美術館 3F 展示室3	先端芸術表現	藤田 紅於	郊外住宅地の発見 —管理社会、事物の結晶化、転覆した世界—
	〃	大学美術館 2F	工芸 (素材造形)	POSTOVA VENTUROVA KRISTYNA	ガラスビーズに至るまで -チェコと日本の現代ガラス美術の比較-
	11:00-12:00 論文審査のみ 作品審査なし	中央棟 2F 第6講義室	文化財保存 (保存科学美術工芸材料学)	寺島 海	近世日本におけるコバルトガラス顔料「花紺青」／「スマルト」の利用と流通 —史資料と科学分析からみる受容の実態
	13:00-14:00	大学美術館 B2 展示室1	工芸 (陶芸)	小松 実紀	柔らかいガラスから感じる人間の姿
	〃	大学美術館 B2 展示室2	文化財保存 (保存修復工芸)	藤井 茉弥	漳州窯で用いられた餅花手技法の研究 —東京都有楽町一丁目遺跡出土品を中心に—
	13:30-14:30	大学美術館 3F 展示室3	デザイン	CAI QIN	風景画に至るまで -「樹木」を媒介とした「感じ入る風景」の生成-
	14:00-15:00	大学美術館 B2 展示室2	文化財保存 (保存修復彫刻)	金 路	鎌倉時代の神将形像の構造技法から見る制作工程に関する検証 —本山慈恩寺十二神将像のうち寅神将像の模刻制作を通して-
	15:00-16:00	大学美術館 3F 展示室4	先端芸術表現	島田 清夏	「見上げる」視点／「俯瞰」の視点 —花火表現における視覚の考察—
	15:30-16:30	陳列館 1F	デザイン	李 光宗	「気」の探求による創造活動に関する研究と実践 —参道空間における「身体知」としての「気」の記譜を契機に—
16日(火)	10:30-11:30	大学美術館 2F	油画 (版画)	諏訪部 佐代子	エントロピーと文化別時間観によるニュー・エフェメリティ論
	11:00-12:00 論文審査のみ 作品審査なし	中央棟 2F 第6講義室	文化財保存 (保存科学文化財創定学)	奥島 希子	博物館資料保存における染着したインジゴの分解過程についての研究
	13:30-14:30	大学美術館 B2 展示室1	油画 (壁画)	伊藤 藍	油彩制作における舐触とアフォーダンスの探求
	14:30-15:30	大学美術館 3F 展示室3	グローバルアート プラクティス	LEE JEUNNE	視線のトラウマと主体の再構築: 反復的創作実践としての「Doing Theology」を通して
	15:30-16:30	陳列館 2F	先端芸術表現	平岡 美由紀	企業制度的日常における「私」の生成 —「私」を生きる技法としての芸術実践—
	17:00-18:00 論文審査のみ 作品審査なし	中央棟 1F 第2講義室	芸術学 (西洋美術史)	伊藤 里華	パリ時代のシモン・ヴーエによる主祭壇画研究
17日(水)	10:00-12:30 論文審査のみ 作品審査なし	中央棟 2F 第3講義室	建築 (建築理論)	石 林俊	旧満州における日本在外公館と日本の外交・植民政策
	10:30-11:30	大学美術館 B2 展示室2	文化財保存 (保存修復日本画)	徳門 あいみ	琉球王国における初期肖像画制作の研究 -『尚恭浦添王子朝良公御後絵』(原図)の想定復元模写を通して-
	11:00-12:00	大学美術館 B2 展示室1	先端芸術表現	平野 真美	喪失と受容のための芸術実践 -彫刻表現における生命感賦との方法
	14:00-15:00	陳列館 2F	油画 (版画)	中島 摩耶	エクリチュールの声
	14:45-15:45	大学美術館 3F 展示室4	先端芸術表現	中川 陽介	メディアアート修復現場における国際的課題の解決法についての考察 —国内におけるナム・ジュン・パイク作品の修復事例を通じて—
	15:00-16:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	林 信吾	廃墟的絵画
	16:00-17:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	杉本 純久	漂流者としての風景 —スマートフォン写真を細密描写する—
18日(木)	10:00-11:00 論文審査のみ 作品審査なし	中央棟 1F 第2講義室	先端芸術表現	大村 直子	「創発的ケア・コモンズ」における「思いやりの循環」 —地域高齢者サロンの持続可能性とインクルーシブな関係性の探求—
	11:30-12:30	大学美術館 3F 展示室3	油画 (技法・材料)	川端 健太	二つの表層—皮膚感覚と絵画
	13:00-14:00 論文審査のみ 作品審査なし	中央棟 1F 第2講義室	芸術学 (美術解剖学)	横山 幸奈	鳥の美術解剖学
	13:30-14:30	大学美術館 B2 展示室2	文化財保存 (保存修復日本画)	阪野 智啓	中世やまと絵屏風の光輝表現技法研究 —旧里見家本「浜松図屏風」の想定復元を中心に—
	14:30-15:30	大学美術館 B2 展示室2	文化財保存 (保存修復日本画)	張 彬文	大型板絵の制作技法研究 —元興寺蔵重要文化財《板絵智光曼荼羅》の想定復元模写を通して—
19日(金)	11:00-12:00	大学美術館 3F 展示室3	油画 (技法・材料)	潘 雯菲	像の力
	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	堀田 紅音	枠を満たす空気
	14:30-15:30	大学美術館 3F 展示室3	日本画	陶 虹	揺らぎの中にとどまる「detaching」の絵画的表現

※上記、論文発表会は一般公開しておりますが、混雑状況により人数制限をする場合がありますのでご了承ください。

2025.12.21